

ランチタイムズ



大石小学校
令和4年11月

給食では「地産地消」を推進しています！

「地産地消」という言葉をご存じですか？ 地域で生産された農林水産物（地場産物）を地域で消費する取り組みのことで、食料自給率の向上をはじめ、地域活性化や、環境保護への貢献など、さまざまな効果が期待できます。学校給食では地場産物の活用を通し、子どもたちへ地域の食文化や産業について伝えるとともに、生産者や食べ物への感謝の気持ちを育んでいきたいと考えています。



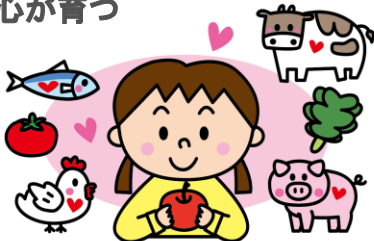
新鮮な旬の食材が
食べられる



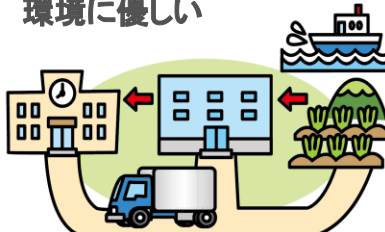
生産者の顔が見えるので
安心感がある



食べ物を大切にする
心が育つ



輸送距離が短くなり、
環境に優しい



地域経済の活性化に
つながる



大石小学校の取り組み



大石小学校では、地産地消として大石小学校の近くのえのもと農園（里芋・キャベツ・白菜）と平方北小学校の近くのナガホリ農園から小松菜パウダーを届けてもらっています。11月は、ふるさと学校給食月間です。小松菜パウダーを入れた「アッピー揚げパン」、大石小学校でわかば学級が育てたさつま芋を「さつまいもシチュー」に使用する予定です。その他、埼玉県産の食材がたくさん登場します。楽しみにしてください。

食育授業を実施しました！

「すききらいしないで なんでもたべよう」
エプロンシアター

元気になったお姫様

1年生



- ・いろいろな たべものを たべようとおもいました。
- ・ちゃんと たべて からだをよろこばせたい。
- ・いろいろなものをたべて からだをいっぱいごかしたり からだをつくったり おなかをいたくさせない からだをつくりたいです。

(1年児童感想)



- ・いつも給食を残さずおかわりもしていると聞いて、とてもうれしいです。学校で苦手なものも食べるといいと教わり、少し苦手なピーマンを自分から食べたいと挑戦しました。これからも作ってくださる方や、食べ物に感謝の気持ちを忘れずにたくさん食べて大きくなってほしいと思います。(1年保護者)
- ・前は、お家で苦手な野菜で手が止まってしまっていたけど、今週は頑張っって食べていたのは、学校で食事の大切さを教えてもらったから頑張れたんだね。学校でも残さず食べられてママもうれしいです。(1年保護者)



授業が終わった後、児童は、「すききらいしないで食べられたかな？」カードでチャレンジしました！おうちの人からの一言ご協力ありがとうございました。

